

# おおふなと 社協だより

 ふれあいネットワーク



2020年 12月号

【特集】地域の力を集結して  
コロナ禍で支えあう…………… 2～3

立瀬川を愛する会…………… 4

うみねこキッズ食堂お弁当配布&お茶会…… 4

越喜来泊地区支え合いマップ作成…………… 5

災害ボランティアセンター設置・運営訓練… 5

お知らせ…………… 6～7

輝き人…………… 8

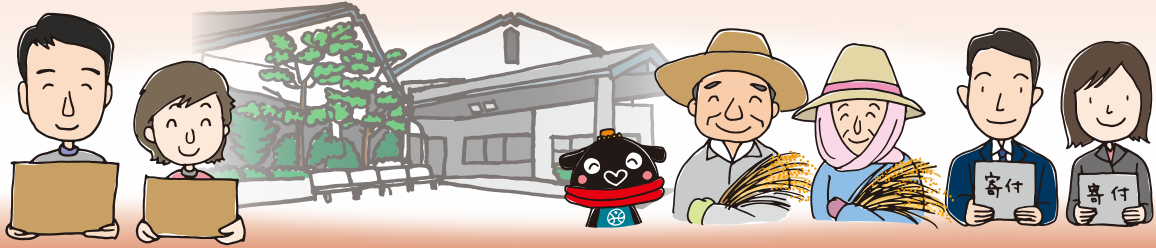


## 今月の表紙

い どう あつ し かず え  
伊藤篤志さん・和恵さん  
そら はるた ふうた  
空ちゃん・陽太くん・楓太くん  
(5歳) (4歳) (1歳)



# 地域の力を集結してコロナ禍で支えあう



## ●コロナ禍で生まれる新たなつながり

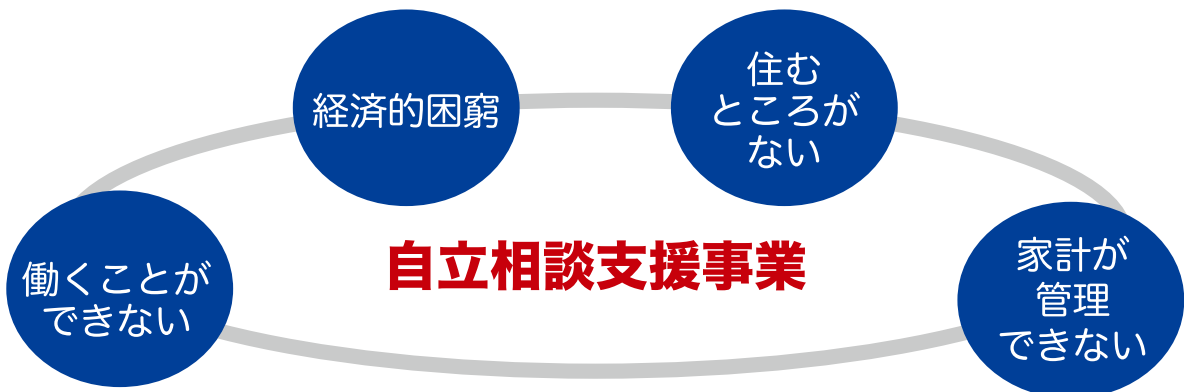
新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、市民の生活には大きな変化が生まれ、さらに社会のあり方も問い直されています。人と人との間に十分な距離を保ち、できるだけ接触を避けることが求められ、お互いに支えあうことが自体もままならない状況ですが、新たなつながりも生まれています。

大船渡市社会福祉協議会では生活困窮者自立相談支援事業を実施して相談窓口を設けており、コロナウイルスの影響により収入が減少した世帯から多くの相談が寄せられています。その数は例年の同時期と比較して3倍以上となっています。なかには、食糧を確保することができない、電気代が払えないなど、緊急性の高い相談も少なくありません。

このような困難を乗り越えるためには、あらゆる課題を早期に見し、地域の協力者や福祉団体が一致団結して包括的にサポート（あんしんサポート）する相談体制が重要となります。

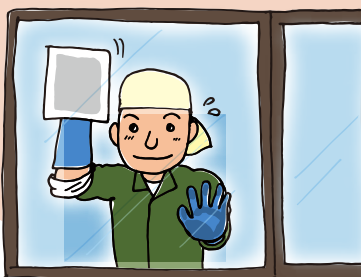
## ●助けあいの循環

4月から現在まで、企業や個人を問わずたくさんの方々から食糧支援の申し出が寄せられています。



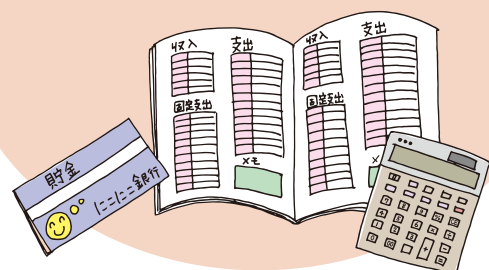
## 就労準備支援事業

- ・セミナーや講座に参加
- ・就労体験で働く機会をサポート



## 家計改善支援事業

- ・家計を見える化
- ・債務整理をサポート





## Iwateあんしんサポートの取り組み

### あんしんサポートとは…

社会福祉法人が種別を超えて連携・協力し、暮らしの困りごとを抱えた人の自立を支援する「新しい支えあいのしくみ」を創ることを目的とした事業です。趣旨に賛同する社会福祉法人が協働で実施しています。

#### 【支援例】

- ・滞納により止められた電気代を支援して一時的に困窮状態を解消。
- ・住居のない方の宿泊費を支援して、一時的に困窮状態を解消。

す。なかには、食糧支援を受けたことがある家庭から提供されるケースもあり、助け合いの心が広がっていると感じています。先の見えない状況が続きますが、こんな時だからこそ出来る支えあいの活動がすすめられるよう市民活動をサポートし、一人ひとりの相談にしっかりと向き合っていきたいと思えます。

みんなの気持ち…  
ありがてえなあ！



## 私達も応援しています



岩手生協グループでは創立30周年を記念してフードドライブ事業に組み、長期にわたって保存が可能なレトルト食品や野菜ジュースなどを会員が購入してご提供いただきました。



日頃市町の鷹生地域では、社会福祉協議会が食糧支援をしながら相談にあっていることを知り、何か協力できないかと生産者有志で「お助け隊」を結成し、お米を提供していただきました。その量 175 kg！



第一生命大船渡営業所では、今年度から事業所ごとの寄附活動を展開し、地域のために出来ることはないかと社員の皆様から食料品等を提供していただきました。また、明治安田生命大船渡営業所からも昨年に引き続きご提供いただきました。

## 学校、企業と連携した地域活動 立瀬川を愛する会



立瀬川を愛する会（及川秀平会長）は、平成22年4月に今野雄吾さん（初代会長）をはじめ、立根町内有志で結成された団体です。この団体は、従来、散策などで親しまれていた立瀬川に草が茂り、ゴミが堆積している現状を、「以前のよう美しい景観を取り戻そう」という目標のもと活動が始まりました。



所属組織の垣根を越えてみんなで活動しました

現在の会員数は37人で毎月1〜2回、立瀬川とその周辺の草

刈り、ゴミ拾いはもちろん、河川両面に桜の木の植樹を行うなど環境整備に尽力しています。

その活動のなかで、毎年実施している気仙光陵支援学校の生徒、教員との合同活動に、(株)ダイナムの社員が加わり、総勢63人で11月13日（金）に合同環境整備を行いました。

及川会長は、「昔は、水をせき止めて泳いだものでしたが、この頃は雑草が生い茂っている状態で、このままではいけないと思って活動しています。光陵支援学校の生徒さんもダイナムの社員さんもよく働いてくれて助かりました」と活動への思いを話してくれました。

また、(株)ダイナム佐々木大輔ストアマネジャーは、「今までは店舗の周辺のゴミ拾いはやってきましたが、これからは地域とともにある企業として、地域の人たちと一緒に定期的にボランティア活動に取り組んでいきたいです」と話してくれました。

## 手づくりの食事で安心を提供 うみねこキッズ食堂 お弁当配布&お茶会



12月6日（日）、子ども食堂実行委員会（山下タエ子実行委員長）主催による「うみねこキッズ食堂お弁当配布&お茶会」が岩手県立福祉の里センターで開催されました。実行委員会は、地域のコミュニティ形成や子どもの居場所づくりなどを目的に昨年10月に発足し、12月に初回イベントを開催しました。



寄付された食材を有効に使い、心を込めて50食つくりました

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大を懸念し、8月に市内の学童クラブへのお菓子配布の

活動に留まっていたりましたが、感染症対策など検討を重ね、当初から取り組んでいた手づくりの食事を提供することになりました。

この日は、16組48人の親子が来場。協力団体から寄附された食材を使い、おにぎりや鶏のから揚げ、ポテトサラダなどが入ったお弁当50食とお菓子なども提供されました。

また、体育館が開放され、子ども達は楽しく遊んだり、表千家清和会によるお茶会を楽しみながら和やかな時間を過ごしました。

山下実行委員長は、「多くの団体の協力を得て、この日を迎えられる嬉しく思います。このような取り組みの輪が広がって安心して生活できるような社会になったらと思います」と話してくれました。

### ○協力団体・個人（敬称略）

五葉ライオンズクラブ、大國物流（有）、小網組合、願いのハーモニー代表吉田テル子、清和会会長太田勝子、株式会社國洋、藤田文字、村上今子、木村政昭、佐藤通太、居場所ネットワークいわて、カリタス大船渡ベース、JAおおふなと、吉田徹



## これからの地区のあり方を考える 越喜来泊地区支え合いマップ作成

11月10日(火)、岩手県社会福祉協議会主催で、住民流福祉総合研究所の木原孝久先生を講師に支え合いマップ・インストラクター養成講座が開催されました。

支え合いマップは、おおよそ50世帯の「ご近所」の住宅地図を用い、気になる人やその人に関わっている人、サービスタなどの関係性を線で結んでいくことで、近所が抱えている福祉課題を把握し、その解決策を考えるために有効な手段と言われています。



越喜来地区助け合い協議会のみなさんの積極的な発言でどんどんマップが出来上がっていきます

今回の研修では、今年度支え合いマップ作成に取り組むこととしていた越喜来地区助け合い協議会の協力のもと、泊地区の3人の住民を招きマップ作成を行いました。

泊地区では、東日本大震災後、地区の中心集落が被災し、「高台移転をしたことで集落が分断され交流が減ってしまった」、「商店が近くにない」などの地域課題が挙げられました。それを受け、小中学生合同の子ども会の創設や御用聞き事業などへの取組案も出されました。

マップ作成に参加した住民の及川和義さんは、「今まで気になる人はピンポイントで知っていたけれど、マップで示されて地域全体の課題としてもう一度考えていくきっかけになりました」と話してくれました。

越喜来地区助け合い協議会の鈴木健悦会長は、「地域の実情がわかり、取り組むべき課題が見つかったことは、大きな収穫でした」と振り返っていました。

## 地域の災害対応力と受援力を高めるために 災害ボランティアセンター 設置・運営訓練

11月25日(水)、岩手県社会福祉協議会と気仙地区社会福祉協議会連絡会との共催で災害ボランティアセンター(以下、災害VC)設置・運営訓練が開催されました。

この訓練は、大規模災害発生時に行政、地域住民やNPO法人などの民間組織、災害VCを運営する社会福祉協議会の三者が連携し、円滑な支援体制を構築していくためのもので、NPO法人や自治会を含んだ38人が参加しました。



実際の活動の一連の流れを確認しながら行い、課題共有を行いました。

訓練は、社会福祉協議会職員が災害VCの運営側、NPO法人や自治会からの参加者がボランティア側に分かれ、災害時どのような災害VCが設置され、ボランティア活動が行われるのかを確認しました。

その後、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)の鈴木敦子さんから情報共有会議の必要性について講演が行われ、「各組織・機関の単体の限界を支援の限界にしない。三者が連携し、情報共有することによって、被災者へ最善な支援を行うことができる」と説明がありました。

参加者からは、「東日本大震災のボランティアの時に出来ていたことも、時間が経てば忘れていく。定期的な模擬訓練を実施していく必要がある」、「災害が発生した時だけでなく、常に三者が関係性を持っていないければ、発災時には対応できない。日頃からの関係性構築が大切になってくる」と感想が述べられました。



## 子育て支援 LINE 公式アカウント開設

子育て支援事業のLINE公式アカウントを開設しました。自宅にいても気軽に情報を得ることができ、子育ての悩みや、相談することもできるようになりました。ぜひご利用ください。

- (1) つどいの広場の利用予約
- (2) 育児相談
- (3) 子育てイベントのお知らせ



@046ghkgo

## おでかけひろば

出張「つどいの広場」です。乳幼児の子育てをしている人ならどなたでも利用できます。

**日 時** 毎週火曜日

【午前の部】午前10時～午前11時50分

【午後の部】午後1時～午後2時50分

※消毒作業のため正午から午後1時は入室できません。

**場 所** おおふなぼーと2階和室

※慢性・先天性疾患、低体重出生児、発達障がいなど配慮が必要なお子さんのためのおでかけひろば「ゆるり」は、1月20日（水）（午前10時～午前11時50分）に開催します。

### \*岩手県福祉人材センター情報

## 介護のしごと相談

キャリア支援員が介護の職場に就職したい人などの相談に応じます

相談についての問い合わせ・申込みは下記までご連絡ください。

### 介護のしごと相談日程（1月）

| 開催日    | 場 所         | 時 間        |
|--------|-------------|------------|
| 12日(火) | おおふなとぼーと    | 午前10時～午後3時 |
| 14日(木) | ハローワーク大船渡   | 午前10時～正午   |
| 18日(月) | 大船渡市Y・Sセンター | 午前9時～午後3時  |
| 21日(木) | ハローワーク大船渡   | 午前10時～正午   |
| 25日(月) | 大船渡市Y・Sセンター | 午前9時～午後3時  |
| 28日(木) | ハローワーク大船渡   | 午前10時～正午   |

※12日(火)はお子様と一緒にご相談可能です。

### 申込・問い合わせ先

岩手県福祉人材センター 坂本さん

電 話 080-8201-0200

メール n-sakamoto.shakyo@mopera.net

※感染防止対策を講じたうえで開催しますが、状況により延期または中止する場合があります。

「募集」「イベント」「お知らせ」など暮らしに役立つ情報をお届けします。



申込・問い合わせ先 大船渡市社会福祉協議会  
電話 0192(27)0001(代表)

イベントについては新型コロナウイルス感染状況により中止となる可能性があります。

### \*子育て支援事業情報

## つどいの広場に通うママ達の 2020年・防災アイデアふりかえり

子育て家庭に防災への関心を高めてもらうことを目的に定期的にぼうさいカフェを開催しています。今回はこれまで参加していただいたママさん達が日頃備えていること、防災に役立つ情報などを振り返りながら、今まで参加できなかった人への情報共有を行います。予約制になりますので、下記までお申込み(電話予約・LINE公式アカウント)ください。

**日 時** 1月14日(木)

午前10時～午前11時50分

**場 所** 大船渡市Y・Sセンター  
つどいの広場

**参加費** 無料

**申込・問い合わせ先**

社会福祉法人 大船渡市社会福祉協議会

電 話 0192-27-0001(代表)



## つどいの広場内イベント

下記の日程でイベントを開催します。参加には事前申込みが必要です。

### つどいの広場イベント日程（1月）

| 開催日    | 内 容             | 時 間               |
|--------|-----------------|-------------------|
| 7日(木)  | はじめてさんの日        | 午前10時～午後2時50分     |
| 21日(木) | 子育て相談の日         | 午前10時～午後2時50分     |
|        | ハローワーク出張おしごと相談会 | 午前10時～午前11時30分    |
| 28日(木) | 栄養相談会           | 午前10時20分～午前11時50分 |



\*その他

### 苦情解決窓口のご案内

大船渡市社会福祉協議会では、社会福祉法第82条の規定に基づき、住民及び利用者の方々に満足いただける事業やサービスを提供するため、苦情や要望等に適切に対応できる体制を整えています。

苦情や要望等がありましたら、まずは身近な職員にお話下さい。

なお、直接、第三者委員に相談することもできます。

(1)苦情解決責任者

金野敏夫 (事務局長)

(2)苦情受付担当者

山崎高範 (生活福祉課長補佐)

石橋厚子 (総務課長補佐)

(3)第三者委員

熊谷勳、保原勘二

### 寄付・寄贈物品受入(11月) (敬称略)

福祉基金 近藤和子、七虹会

指定寄付 細川歯科 (地域福祉のため)

寄贈物品 匿名 (食料品)

日頃市町鷹生地域フードバンク  
支援隊 (米 175 kg)

### 災害義援金受入(11月) (敬称略)

令和2年7月豪雨災害義援金

おおふなとはなの会

## 令和2年度

### しあわせ・どっと・こむ中止について

毎年開催している「しあわせ・どっと・こむ」ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため今年度は中止となりました。



\* Y・Sセンター情報

### 筋力測定会

1分間で筋肉量、体脂肪量、水分量などがわかる筋力測定会を開催します。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予約制で人数に制限を設けての開催となります。下記まで事前にお申込み(電話予約も可)ください。

日時 1月16日(土)

①午前の部 午前10時～正午

②午後の部 午後1時～午後3時

人数 午前、午後各22人ずつ

場所 大船渡市Y・Sセンター

参加費 無料

### 大船渡市Y・Sセンター=年末年始休館

12月28日(月)から1月4日(月)まではY・Sセンター全館休館となります。

### 今月の表紙

伊藤 篤志 さん  
和 恵 さん  
空 ちゃん  
陽 太くん  
楓 太くん  
(猪川町在住)

元気に、すくすく  
いろんなことを吸収  
して、成長していく  
姿を楽しみにしてい  
ます。



### 我が家のペット

#### 我が家の「もみじちゃん」

目を離すとすぐにものをどこかに隠してしまうもみじちゃん。  
泥棒頭巾をかぶせてあげました!!

赤崎町 ペンネーム もみじ饅頭 さん

鼻の黒い模様も「ヒゲ」みだいでめんこいこと!



### 投稿写真大募集!

投稿方法は3つの中からお選びください!

①写真データをメールする

ooshakyo@cocoa.ocn.ne.jp に添付

②写真を郵送する

〒022-0006

立根町字下欠125-12「Y・Sセンター」内  
大船渡市社会福祉協議会「我が家のペット」係

③本会に直接写真を届ける

①～③ 共通

- ・一言説明コメント
- ・名前 (ペンネーム可)
- ・住所 (町までで可) を必ず添えてください。

次号締め切り  
1月5日(火)

どしどしご応募ください!

※投稿作品は返却しませんので予めご了承ください

# 輝き人

かのりのか  
管野典克さん(38歳)

日頃市町在住。特定非営利活動法人さんりく・こすもす 共生型事業所「とまり」の生活支援員として、日々利用者さんに向き合う。



## 何気ない日常を支える支援を

### ○Uターンから福祉の道へ

以前、電機メーカーに勤めており、転勤を繰り返しながら主に関東方面で生活していました。将来的には地元に戻ることを決めていたので、30歳の時にUターンしました。

介護の仕事をしていた姉が背中を押してくれたこともあり、介護施設に就職し、大変な中にもやりがいを感じながら仕事をしてきました。結婚を機に「さんりく・こすもす」に転職したのが昨年の9月のことです。

### ○信頼される職員を目指して

現在は共生型事業所「とまり」の生活支援員として、送迎、入浴、レクリエーションなどの業務を担当しています。

さんりく・こすもすの利用者さんは、20代から80代と幅広く、最初の頃はどのように声をかけたら

### ○利用者さんと心を通わせる

よいか悩むこともありましたが、支援員として日々関わる中で、利用者さんが気づかせてくれることも多く、今ではどのような状況であつても、普段と変わらず接することを心がけるようにしています。

共生型事業所「とまり」は、介護福祉事業と障害福祉事業を同じ建物で一緒に行う、県内最初の施設です。これまでの介護施設とは違いがあり、難しさを感じていました。例えばレクリエーション一つを取っても、どのようなメニューなら利用者さんに満足してもらえるか、日々悩みながら業務にあたっています。

障がいのある利用者さんとの間には、特に信頼関係を築くことが大切です。その構築には長い年月の関わりと積み重ねが必要だと思っています。そんな中、利用者さんが入職わずか2年目の私を相談相手

として選んでくれた時、頼りにしてくれたことを嬉しく思い、この仕事にやりがいを強く感じました。

### ○一歩一歩「ハッピー」

20代の利用者さんとは若者ならではの話し、80代の利用者さんとは、その方の若い頃の話など、利用者さんとの何気ない会話が楽しく、大切にしている時間です。

信頼される職員になることは、利用者さんが通所を楽しみにしてくれること、また、安心して通所できる環境づくりにつながると思っています。

これからも一人ひとりの思いに寄り添えるよう、利用者さんとの時間を大切にしながら過ごしていきたいです。



見つけて Happy

町もすっかりクリスマスですね…あれ？にこにんが帽子をどこかに置いてきてしまったようです。8  
今月の社協だよりの中で、**にこにんのサンタ帽**がどこにあるかさがしてみね！